

津田沼

更に更に上る反動分子への怒り 津田沼支部組合員の声

日刊 勤労千葉

81. 8. 10

No. 817

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五〜六（公衆）四三二七二〇七

勤労「本部」革マル反動分子嶋田、齊藤(吉)らによる警察労働組合としての告訴、不当弾圧をはねのけて闘い抜いた、六名の仲間を中心とする勤労千葉の闘いは、まさに、闘う路線を千三百組合員がわがものとして、八〇年代に勝利する、大きな橋頭堡を築きあげた。
六名の仲間を完結のまま、奪還した津田沼支部は、八月五日職場集会を開催し、勝利の確認と、闘いの意志統一を行った。

この集会前段で、編集部は、津田沼の組合員の十七日間にわたる闘いの経過と教訓、今何を思っているかなど、卒直に意見を求めた。多くの組合員は、積極的に話してくれた。ここにいくつかの勤労「本部」反動分子への燃え上がる怒りを語ってくれた組合員の生の声を紹介しよう。

「本部」派を一掃して、もとの明るい職場に！
そのためにガンバル

七月十五日以降、執行部は大変だったと思う。俺たちは、乗務の合間に籠城する位だけど、今回はみんなが燃えて闘ったよ。普段組合に無関心な者まで多く参加したと思うし、雰囲気はすごく良かったよ。

「本部」なんか、最初から判っていたけど、このことでもっとはつきりしたよ。

短期転勤者の連中に理由を聞いても、だまっただままで自分達のやったことに責任がとれないで、何が闘う組合だよ。じょうだんじゃ

勤労千葉の路線は、
全組合員に浸透している

今回の闘いで、「本部」の連中への憎しみはたしかにあるけれど、どっちかというかわいそうな気がする。だってよ、やつらの打つ手打つ手が全て裏目に出ているだろ。やればやるほど、力が強くなって組織がまとまる。こんな組合あるかなあ。奥の手、いや本性かな。これも失敗だろ。俺は、何をやってもはねかえす力、勤労千葉の路線が全組合員に浸透しているからだと思うね。

仲間のガンバリに答えるなんて当り前だと考えて行動したよ。だから、動員だって役員からいわれる前に組合事務所へ行って聞いたんだ。

この闘いの中で、大きな自信をもつことが出来たし、何よりも、「本部」派津田沼なんてあるのがおかし

ない。

それと、警察というところは、デッチ上げをつくるのは聞いていたが、そのとおりらしい。

今まで狭山は知っていたけど、狭山差別裁判の闘いを改めて実感したよ。

これからは、「本部」派を一掃してもとの明るい職場をとりもどすためにがんばってゆきたいと思っている。

(F君 31才 電運士)

いんだから、たたき出すことだよ。起訴に対しては、今を倍する闘いをつくり上げるために、活動家（役員）の気持ちになってやってゆきたいし、そういう確信ができたと思う。(N君 35才 電運士)

タレコミ屋嶋田の任務は完全破産した！

「本部」革マル反動分子の一方的なやり口に許せない怒りを感じてる。
人、金、酒、暴力でも崩せないから今度は権力に売る、こんな汚いやり方を許しておくことは出来ない。

組合員は俺も含めて一生けんめいにやったよ。いまさらながら仲間意識の強さを痛感したよ。

俺は、デッチ上げである以上自信があったし、現実、タレコミ屋嶋田の任務と、「本部」革マル反動分子の狙いはもの見事には

事実でないことを書く「本部」ってどんな組合なの？

あのこと以来、全く変わった空気が生まれたと思う。デッチ上げ告訴に怒りを感じるだけでなく、この間すべてそうだよ。中野の暴力支配だとか、組合員は苦しんでいるだなんてとんでもない。
俺、「本部」へ行かなくてよかったと思ってる。いま、デマ宣伝で、九州に帰りたいために「本部」にいる者なんかより、よっぽど人間らしいし、しあわせに思っている。これからは、もっともつとみがかきのかかった勤労千葉をつくり、当局や警察と一体となって労働者を売り渡す裏切者を一日も早く職場から追いたしたい。当局に一日中防衛されてあれでも労働者といえるのか。そんな連中の入っている組合っていうのは一体何なんだか。今度、やつらに対し徹底的に追及してみたい。

(H君 32才 電運士)

ずれたじゃないか。勤労千葉の組合員は身内以上のつながりがあるもんな。そんなヘタな手は古いよ。

佐倉・銚子などの「本部」派は、「知らない」「俺達がやったものではない」というかたちで逃げていくが、組織としてやったことを、知らないなんておかしと思うし、そんな組合は、千葉の地にとって得するものではなく、むしろ害にしかならない。害になるものは今からとりのぞいて、自分達の生き生きとした闘いを進めてゆきたい。

(M君 31才 電運士)